

PCSA アクションレポート（コスト問題研究部会）

平成 31 年 2 月版

第 159 回コスト問題研究部会・第 3 回コスト問題勉強会

- 開催日時 平成 31 年 2 月 7 日（木） 午後 2 時～午後 5 時
- 開催場所 PCSA 会議室
- 出席人数 講師 1 名、担当理事 1 名、部員 5 名、賛助部員 5 名、正会員オブザーバー 2 名、
賛助会員オブザーバー 1 名、合計 17 名
- 出席者 <講師>
- 高橋 正人 様 有限会社トータル・ノウ・コネクションズ 代表取締役
一般社団法人日本アミューズメントパチンコ産業ネットワーク 代表理事
- 北瀬紳一郎様 サン電子株式会社 TRYSEM チーフアナリスト
- <担当理事>
- 福井 宏彰 株式会社ボネール アミューズメント事業部 次長
- <リーダー>
- 佐藤 千恵 株式会社セントラル伸光 営業部 課長
- <サブリーダー>
- 宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役
- <部員>
- 呉 允博 株式会社日本ヒューマップ 景品事業担当（新規事業）
（株式会社ダイナムジャパンホールディングス）
- 春原 明美 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 営業支援部 係長
- 新井 弘光 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 企画開発部 係長
- 原田 明光 株式会社三永 顧問・コスト管理担当
- <賛助部員>
- 園田 悦志 株式会社大商 関東統括支店 支店長
- 堀金 泰陽 グローリーナスカ株式会社 営業推進部 情報分析グループ サブマネージャー
- 齊藤 信孝 株式会社山宝商会 専務取締役
- 古賀 新 株式会社インターコスモス 東京支店 支店長
- <正会員オブザーバー>
- 久志 拓巳 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 第二営業部 次長
- 酒井 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 次長
- <賛助会員オブザーバー>
- 前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長

1) 部員近況報告（コスト関連情報交換）

参加者からの現況報告として、高射幸性スロット撤去 15%延長への対応、有機飲料レイボスティーの PB 賞品、セルフカウンター導入店舗、賃料交渉、ベンチマーク制度進 他の情報を共有した。

2) 第3回コスト問題勉強会

テーマ： 「投資コストは、昨年対比 100%超えは確実！？」

遊技機投資と無集客投資を、どう乗り切るのか？」

講師： 高橋 正人 様 有限会社トータル・ノウ・コネクションズ 代表取締役社長

北瀬 紳一郎 様 サン電子株式会社 TRYSEM チーフアナリスト

・全日遊連 2019 年の注目は「廃業店舗数」に。

<7つの問題> 1. 依存対策を論じる

参考：法施行規則「第 38 条」に、「管理者業務」が追加

「管理者の業務」が行政講話で初めて言及され、実施しなければ法律違反という事が明確にされた。なお、この「管理者の業務」は、法施行規則の第 38 条の第十一号として新たに追加されたが、第一号の従業員名簿をずさんに取り扱う事を繰り返せば、営業停止の事例もあった。従って、第十一号として追加された「管理者業務」、その一端となる RSN ポスターを貼っていないホールは法律違反に、また依存対策を目的として作られた「6 号機」を購入しないホールは、依存対策を怠っていると見なされる恐れがある。

<7つの問題> 2. 遊技機購入台数規模を論じる

今年と来年で遊技台が全台撤去となり、外せるのは来年の年末のまで。そこまでで全て新規機に入替となる。また、新たな「6 号機」は出てくるだろうが、その遊技機がホールにとって「良い」遊技機かは分からない。とにかく P265 万台、S169 万台を全入替する為の方策が必須。逆に期限で閉店する事を前提に、全く入れ替えしない営業も一つの回答かもしれない。

<7つの問題> 3. パチンコ市場規模を論じる

2018 年 12 月から県ごとの設置台数と前年対比を資料に載せている。東京都のシェア率を見ると、全国対比で人口は 10.9%だが、店舗シェアは 8.5%、台数シェアは 7.3%と共に低い。これは「店舗数が増えても良く」「台数が増えても良い」県として、まだまだ新規ホールを出せる「県」となる。しかし、これは逆に言うと「出店されてしまう県」でもある。大手はどこに出店すべきなのか。数値を見ると東京、神奈川、沖縄が出店余地がある。

<7つの問題> 4. 広告宣伝を論じる

風俗営業は、第 16 条「風俗営業者は、その営業につき、営業所周辺における清浄な風俗環境を害するおそれのある方法で広告又は宣伝をしてはならない」という一文でルール化されている。今後は、ギャンブル等依存症対策基本法や、第三者機関が「パチンコの広告宣伝はゆるい」と言えば、更に制限が厳しくなる可能性が高い。

<7つの問題> 5. 消費増税を論じる

外税対応にしている店は 116 玉で、新しいユニットに変えないと対応が難しい。外税でやると 100%良いという訳ではないが傾向は出てきている。外税の方が勝った時の利益が大きいという事になる。125 玉と 114 玉で 11 玉違うとかなり玉持ちがかなり違う。この消費税も 10%以上になって内税でやっていると、ほとんど利益が出ないが、外税では楽になる。

<7つの問題> 6. 受動喫煙を論じる

喫煙ブースに、外排気が必須のルールが承認される可能性が高く、外排気出来ない喫煙ブースには注意。また、加熱式タバコであればホールでコーヒーを飲みながら吸える可能性がある。今後、加熱式タバコを全国で吸う人が増えるので、全ての加熱式タバコのデバイスなどをホールにおいてほしい。

<7つの問題> 7. 国際イベントを論じる

サミットなどの国際イベントが開催される場合、関西方面はサミット開催の1か月前から、入れ替え自粛になると予測できる。そこで、6月末までできなくなる。同様にラグビーWCもある。オリンピック、パラリンピック、天皇退位もある。GW前に入れ替えたホールが勝ちの可能性がある。

3) 次回開催

コスト問題研究部会
平成 31 年 3 月 7 日（木）
PCSA 会議室
午後 2 時～午後 5 時

以上